

事業所名		パレトラボまでん				支援プログラム【放課後ディサービス】				作成日		2026 年		8 月		15 日							
法人(事業所) 理念		子どもの尊厳と人格を尊重し、一人一人が持つ色(個性)を大切にしながら、その子らしい成長と豊かな未来を支えます。																					
支援方針		パレトラボでは、子ども一人ひとりの個性や発達段階、興味・関心、得意なことや苦手なことを尊重し、「その子らしく成長できること」を大切にした支援を行います。「運動遊び×思考力」を基本として、子どもが楽しみながらさまざまな経験を積み重ね、「できた!」という成功体験を増やしていきます。 また、できないことを無理にできるようにするのではなく、一人ひとりのペースに合わせて「どうすればできるようになるか」「どのような方法なら取り組めるか」を考え、必要な環境調整や支援方法を工夫します。 日々の活動を通して、身体を動かす力、考える力、伝える力、人と関わる力、自分で生活する力などを育み、将来の自立と社会参加につながる「生きる力」を育てます。 子ども自身が「やってみたい!」「できた!」もってやってみよう!と思える経験を大切にし、自信や自己肯定感を育みながら、一人ひとりが自分らしく輝き、未来へ進んでいけるよう支援します。																					
営業時間		10 時				00 分から				19 時				00 分まで				送迎実施の有無		あり		なし	
		学休日				9 時				00 分から				18 時				00 分まで					
		支 援 内 容																					
本人支援	健康・生活	・来所時に健康状態を確認し、体調や表情等の変化に配慮します。 ・手洗い、うがい等の衛生習慣を身につけ、健康管理への意識を育てます。 ・靴や荷物、学習用具等の整理・片付けを通して、身の回りのことを自分で行う習慣を育てます。 ・学校生活と事業所での活動を通して、規則正しい生活リズムを維持できるよう支援します。 ・食事やおやつを通して、食事のマナーや食への関心を育てる食育活動を行います。																					
	運動・感覚	・サーキットトレーニングを通して、身体の使い方や基礎的な運動能力を育てます。 ・体幹トレーニングを取り入れ、姿勢保持や身体の安定性を高めます。 ・ボール運動やバランス運動を通して、身体の協調性や運動能力を育てます。 ・公園活動や戸外活動を取り入れ、身体を動かす楽しさや地域の中で活動する経験を提供します。 ・一人ひとりの感覚特性に配慮し、感覚統合を意識した活動を取り入れます。 ・運動への挑戦や成功体験を大切にし、自信や「やってみよう!」という意欲を育てます。																					
	認知・行動	・パズル、カードゲーム等を通して、考える力や集中する力を育てます。 ・学校の宿題や学習課題について、一人ひとりの理解度や得意・不得意に合わせて支援します。 ・集中して課題に取り組めるよう、課題の量や難易度、取り組み環境等を工夫します。 ・スキルアップトレーニングを通して、自分で考え、試し、解決する力を育てます。 ・活動の手順や予定を分かりやすく伝え、見通しを持って行動できるよう支援します。 ・「できた!」という成功体験を積み重ね、学習や課題に主体的に取り組む意欲を育てます。																					
	言語コミュニケーション	・SST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れ、場面に応じたコミュニケーションの方法を学べるよう支援します。 ・挨拶や返事、日常会話等を通して、相手と適切にやり取りする力を育てます。 ・自分の気持ちや考えを整理し、相手に分かりやすく伝える力を育てます。 ・集団活動を通して、相手の話を聞くことや自分の意見を伝える経験を積み重ねます。 ・読み書きについて、一人ひとりの学習状況や発達段階に応じた支援を行います。																					
	人間関係社会性	・集団遊びやレクリエーションを通して、友達と一緒に活動する楽しさを体験します。 ・協力活動を通して、相手と協力して一つのことに取り組む力を育てます。 ・活動の中で役割を持つ経験を通して、責任感や主体性を育てます。 ・ルールを理解し、順番を守る、相手の話を聞くなど、集団生活に必要な社会性を育てます。 ・地域交流活動等を通して、さまざまな人と関わる経験を提供します。 ・「一人ひとりの努力や成長を認め、「できた!」「役に立てた!」という経験を積み重ね、自己肯定感を育てます。																					
家族支援		・HUGや送迎時等を活用し、事業所での子どもの様子や活動、成長について保護者と情報共有を行います。 ・保護者からの相談や家庭での困りごとを丁寧に聞き取り、必要に応じて面談等を実施します。 ・家庭での生活や学習、子どもとの関わり方について、必要な情報提供や助言を行います。 ・子どもの成長や変化を保護者と共有し、家庭と事業所が連携して支援できるよう努めます。 ・必要に応じて学校や相談支援事業所、関係機関と連携し、家庭を含めた継続的な支援につなげます。								移行支援		・学校と必要な情報を共有し、学校生活と事業所での支援につながるよう連携します。 ・進級や進学など、環境の変化に向けて必要な準備や支援を行います。 ・子ども自身が将来の生活について考え、自分の得意なことやできることを伸ばせるよう支援します。 ・相談支援事業所や学校、その他の関係機関と連携し、切れ目のない支援につなげます。 ・地域活動への参加等を通して、将来の社会生活に必要な経験を積めるよう支援します。											
地域支援・地域連携		・学校と情報共有を行い、子どもの学校生活や課題について共通理解を深めます。 ・相談支援事業所と連携し、子どもや家庭の状況に応じた支援内容を検討します。 ・必要に応じて医療機関と情報共有を行い、子どもの健康や発達に配慮した支援につなげます。 ・行政機関等と必要な情報を共有し、関係機関と連携した支援体制を整えます。 ・地域行事や地域活動への参加を通して、地域の中でさまざまな人と関わる経験を提供します。								職員の質の向上		・虐待防止、身体拘束適正化、感染症対策BCP、安全計画等に関する研修を計画的に実施します。 ・外部研修や内部研修を通して、障害特性や発達支援、児童福祉等に関する知識や専門性を高めます。 ・日々の支援について職員間で情報共有や振り返りを行い、より良い支援方法を検討します。 ・ケース検討会を実施し、子ども一人ひとりの特性や支援上の課題について職員間で共通理解を深めます。 ・職員が継続的に学ぶ機会を確保し、子ども一人ひとりに応じた質の高い支援を提供できる体制を整えます。											
主な行事等		・七夕、ハロウィン、クリスマス等、季節を感じられる行事を実施します。 ・運動イベント等を通して、身体を動かす楽しさや友達と協力する経験を提供します。 ・外出活動を通して、公共の場でのルールやマナーを学び、社会経験を広げます。 ・社会見学等を実施し、さまざまな仕事や社会の仕組みに触れる機会を提供します。 ・制作活動を通して、創造性や集中力を育て、自分で作品を完成させる達成感を体験します。 ・地域交流活動を通して、地域の人々やさまざまな環境と関わる機会を提供します。																					